

年月日

22

12 | 01

ページ

06

NO



奧谷金網製作所社長

奥谷 智彦氏

ニーズに応じた製品・技術の開発に取り組んでいます。奥谷智彦社長にモノづくりの強みや、人材育成の考え方などについて聞いた。

(神戸総局長・増田泰久)

――「目指せ業界世界一」の

「板厚より小孔径、狭い
シチのパンチングプレス加工を実現する独自の『スープーパーパンチング』技術を活用し、原子力プラントや水

奥谷金網製作所(神戸市中央区)は工業用金網・フイルター・やパンチングメタルの製造販売を手がける。「顧客から選ばれる企業」を目指し、1895年の創業以来、常に変化する時代の

桃む

モノづくり ヒトづくり

技術力^{ムラカミ}をスローガンに掲げています。

今から約50年前、それまでは外部から仕入れて販売していたパンチングメタルを自社で製造するようになった。これが技術力を磨く転換点になつた。1967年に明石工場（神戸市西区）を新設してからのことだが、タレットパンチプレス機の登場で、胴板を二回

地球環境に貢献できる製品提供

球環境保全に貢献できる製品を提供する。地球環境保全は当社の企業理念の一つ。2005年には、環境マネジメントシステムに関する国際規格『ISO14001』の認証取得を目指している」

「実現には社員の意識統一も不可欠です。社員教育の方向性は、『世界に通用する人材育成が目標だ』。『社員一人ひとりが誇りと自信を持てる会社』を目指して取り組み、特に社員研修には力を入れている。全社員を4チームに分け、各チームが年4回のスケジュールでそれぞれ研修を実施。外部講師を招き、毎年テーマを変えて行っている」

「今期のテーマは、『アロフエッシュヨナル研修』だ。特に意識や考え方方に重きを置いた。仕事を対する社員のベクトル合わせが何より重要だと感じているからだ。他にも役職者への研修や、技術向上に向けた研修なども実施し、研修には年間約1,000万円の費用を投じている。社員の意識改革で、オンライン・ナンバーワン企業を目指す」